

中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会（第123回）

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムと学習指導要領との 対応関係について

令和3年4月28日

文部科学省大臣官房国際課

国際バカロレア（IB）について

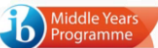
国際バカロレアとは

- 国際バカロレア（IB）とは、課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム。国際バカロレア機構の提供の下、世界150以上の国・地域の5,000校以上で実施（2020年7月現在）。
- 高校レベルのディプロマ・プログラム（DP）では、**国際的に通用する大学入学資格（IB資格）が取得可能**であり、世界の大学入学者選抜で広く活用。幼稚園、小学校、中学校レベルのプログラムを含め、我が国のグローバル人材育成等に資する。
- **成長戦略2020（2020年7月閣議決定）において、IB認定校等を2022年度までに200校以上**にするという目標（2021年3月現在167校）を掲げている。

【国際バカロレアの学習者像】

探究する人 私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学びます。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。	心を開く人 私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。	思いやりのある人 私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。
考える人 私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。	挑戦する人 私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に対して、機知に富んだ方法で快活に取り組みます。
コミュニケーションができる人 私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。	バランスのとれた人 私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。
信念をもつ人 私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。	振り返りができる人 私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

【国際バカロレアの教育プログラム】

- ◆ **ディプロマ・プログラム(DP)**【日本：46校、世界：3,428校】
⇒16～19歳を対象とした2年間のプログラム。主に高校で導入
 - ◆ **ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)**【日本：18校、世界：1,522校】
⇒11～16歳を対象とした5年間のプログラム。主に中学校で導入
 - ◆ **プライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)**【日本：38校、世界：1,771校】
⇒3～12歳を対象とした5年間のプログラム。主に幼稚園、小学校で導入
- cf. キャリア関連プログラム（CP）【日本での導入校はなし】
16～19歳を対象としたキャリア教育・職業教育に関連したプログラム

IB導入の効果

①グローバル人材育成

- ✓ 幅広い知識の**探究スキル**、**課題発見・解決能力**、**コミュニケーション能力**等を育成
- ✓ 国際的な視野を持ち、AI等の技術革新、将来（Society 5.0）の社会課題に対応するグローバル人材を育成

②初等中等教育の質の向上

- ✓ IBと日本の教育政策の方向性は親和性が高い
- ✓ **主体的な学び**を通じた全人教育により、水平展開できる初等中等教育の好事例を形成

③国際的通用性

- ✓ IB資格を活用した**国内外への進路の多様化**
(ex)高校段階のプログラム（DP）のスコアにより、
 - ・ **海外大学の受験に活用可能**（学力試験の免除等）
 - ・ **海外大学では進学後の単位**として認定 等
- ✓ 国内大学でのIB入試導入により、
海外のIB生を呼び込み、国内の**大学の国際化・活性化**



（参考）IB生の授業風景
@市立札幌開成中等教育学校

国際バカロレア認定校一覧 (五十音順・令和3年3月現在)

北海道

※市立札幌開成中等教育学校

宮城県

秀光中学校
※仙台育英学園高等学校
東北インターナショナルスクール
※宮城県仙台二華中学校・高等学校

群馬県

ぐんま国際アカデミー

茨城県

開智望小学校
つくばインターナショナルスクール
※茗溪学園高等学校

埼玉県

※昌平中学校・高等学校
※筑波大学附属坂戸高等学校

東京都

アオバジャパン・インターナショナルスクール
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール晴海
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール芝浦
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール早稲田
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール三鷹
インディア・インターナショナルスクール・イン・ジャパン
ウィローブルックインターナショナルスクール
※開智日本橋中学・高等学校
カナディアン・インターナショナルスクール
K・インターナショナルスクール
サマーヒルインターナショナルスクール
シナガワインターナショナルスクール
清泉インターナショナルスクール
セント・メリーズ・インターナショナルスクール
サイシヤインターナショナルスクール
グローバルインディアンインターナショナルスクール東京
玉川学園中学部・高等部
千代田インターナショナルスクール東京
東京インターナショナルスクール
※東京学芸大学附属国際中等教育学校
東京都立国際高等学校
町田こぼと幼稚園
みずほスクール
※武蔵野大学附属千代田高等学院

神奈川県

※神奈川県立横浜国際高等学校
キッズ大陸よこはま中川園
やまた幼稚園
サンモール・インターナショナルスクール
聖ヨゼフ学園小学校
※法政大学国際高等学校
ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール
※三浦学苑高等学校
横浜インターナショナルスクール

山梨県

山梨学院幼稚園
山梨学院小学校
※山梨学院高等学校
※山梨県立甲府西高等学校

長野県

インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢
インターナショナルスクールオブ長野
若草幼稚園
※松本国際高等学校

岐阜県

サニーサイドインターナショナルスクール

静岡県

エンゼル幼稚園
加藤学園暁秀高等学校・中学校
静岡サレジオ幼稚園
静岡サレジオ小学校

愛知県

アップビート・インターナショナルスクール
江西インターナショナルスクール
※東海学園高校
名古屋インターナショナルスクール
名古屋国際中学校・高等学校

滋賀県

※滋賀県立虎姫高等学校

京都府

京都インターナショナルスクール
同志社インターナショナルスクール
同志社国際学院初等部
立命館宇治中学校・高等学校

大阪府

アブロード・インターナショナルスクール大阪
大阪教育大学附属池田中学校
※大阪市立水都国際高等学校
※大阪女学院高等学校
大阪YMCAインターナショナルスクール
関西学院大阪インターナショナルスクール
※コリア国際学園

兵庫県

※AIE国際高等学校
カネディアン・アカデミー
関西国際学園
神戸ドイツ学院
マリスト国際学校

岡山県

※朝日塾中等教育学校
アブロードインターナショナルスクール岡山
※岡山理科大学附属高等学校

広島県

AICJ高等学校
※英数学館小・中・高等学校
広島インターナショナルスクール
広島県立広島叡智学園中学校・高等学校

高知県

香美市立大宮小学校
※高知県立高知国際中学校・高等学校

福岡県

福岡インターナショナルスクール
※福岡第一高等学校
リンデンホールスクール中高学部

沖縄県

オキナワインターナショナルスクール
※沖縄尚学高等学校

(凡例)

■ 公立IB校の所在都道府県

青字：学校教育法第1条に定める学校（いわゆる1条校）

■ 国私立IB校の所在都道府県

※：デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLDP）実施校

認定校	: 93校
うち1条校	: 51校
うちDLDP実施校	: 27校

国際バカロレア（IB）推進に関する政策文書等

技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について（第十一次提言） 令和元年5月17日 教育再生実行会議

2. 新時代に対応した高等学校改革

（2）高等学校の教育内容、教科書の在り方

- 国は、将来、世界で活躍する革新的なグローバル人材の育成を推進するための基盤構築に向け、高等学校におけるICT環境整備などの取組を進めるとともに、我が国における国際バカロレアの推進を図るため、学習指導要領の内容を確実に学びつつ国際バカロレア・ディプロマ・プログラムを無理なく履修することができ、より活用しやすい制度となるよう、現在の教育課程の特例を認める仕組みの改善を図る。

第3期教育振興基本計画 平成30年6月15日 閣議決定

2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

目標（7）グローバルに活躍する人材の育成

○国際化に向けた先進的な取組を行う高等学校・高等専門学校・大学等への支援

- ・グローバル化に対応した素養・能力を育み、国際的に通用する大学入学資格を取得できる国際バカロレアの普及と認定校等の増加に向け、導入に係る支援、情報提供の体制の構築や大学における活用促進等に戦略的に取り組む。

成長戦略2020 令和2年7月17日 閣議決定

【工程表】

国際バカロレアに関し、国内の普及体制（コンソーシアム）を通じ、デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム（日本語DP）の導入促進、大学入試における国際バカロレアの活用促進、国際バカロレア導入に向けた環境整備（教育課程の特例措置、教員の養成・確保等）等を推進

- ・ 国際バカロレア認定校等を2022年度までに200校以上

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 令和2年12月21日 閣議決定

（2）-①- ii -b)

地域に根ざしながらグローバルに活躍する人材育成の拡充に向けた取組を以下の施策等を通じて推進する。

- ・ 国際的に通用する大学入学資格が取得可能な教育プログラムである国際バカロレアの普及・拡大

■工程表

	2021 年度	2022 年度	2023～2024 年度
取組内容	(a)地方大学や専修学校等の地域の人材育成機関としての機能強化の推進 (b)地域に根ざしながらグローバルに活躍する人材育成の拡充に向けた取組の推進		

国際バカロレアの教育カリキュラム（DP）

ディプロマ・プログラム（DP）の履修形式

- コアの3科目は**必修**。その他の教科については、**各グループから原則1科目を選択**し、**計6科目**を履修（下表参照）。
- コア以外の各教科の科目には、上級レベル（HL：240時間程度）と標準レベル（SL：150時間程度）のカリキュラムが存在。選択可能な6科目のうち、**3～4科目はHL**で、**2～3科目はSL**で履修。
- 上記全てを履修し、**外部評価**（世界共通の試験等による評価）**及び内部評価**（各学校の教員による評価後IBのモデレーターにより適正化）を通じて、**45点満点※中原則24点以上**を獲得することで、**国際的に通用する大学入学資格（IB資格）を取得可能**。

※配点：EEとTOKで合計3点満点、各グループの教科は7点満点×6科目

	教科名	教科の概要
コア （必修科目）	Extended Essay (EE) 課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる（英語は4000 word, 日本語は8,000字）。
	Theory of Knowledge (TOK) 知の理論	「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問を探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。最低100時間の学習。
	Creativity, Activity, Service (CAS) 創造性・活動・奉仕	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。
	グループ名	選択科目リスト（赤字は日本語での履修が可能な科目）
（各グループから1科目選択）	1. 言語と文学（≒母国語）	言語A：文学、言語A：言語と文学、文学と演劇
	2. 言語習得（≒外国語）	言語B、初級言語
	3. 個人と社会	地理、歴史、経済、ビジネスと経営、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、心理学、社会・文化人類学、世界の宗教（標準レベルのみ）、グローバル政治
	4. 理科	生物、化学、物理、コンピューター科学、デザインテクノロジー、スポーツ・エクササイズ・健康科学（標準レベルのみ）
	5. 数学	数学：解析とアプローチ、数学：応用と解釈
	6. 芸術	音楽、美術、ダンス、フィルム、演劇

IB校における教育カリキュラム編成

■ 学習指導要領との対応関係の確保に向けた取組

- 1条校でのIB導入にあたっては、**学習指導要領とIBの内容を両方とも無理なく確実に学べるよう**に工夫が必要。
- 平成27年文部科学省告示第127号（以下「告示」という。）において、国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校における教育課程の基準の特例を定めている。

■ 制度概要

高等学校卒業に必要な単位数 = **74単位**

必修科目 （標準単位数：38～44）	必修科目以外 （標準単位数：36～）
 ✓ 以下の3要件を満たす場合、告示に規定する科目について 高等学校学習指導要領との読替えが可能。 1. 高等学校学習指導要領に定める内容事項が適切に取り扱われていること。 2. 生徒の発達の段階並びに内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。 3. その他、生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。	 ✓ IB科目を学校設定科目として置いた場合、36単位まで卒業単位数に算入可（通常は20単位）。 ⇒必修科目で減単を行わなければ、必修科目以外の全ての卒業単位数をIB科目から算入可。

- ✓ 国語以外の科目等を、英語で指導することが可能。
- ✓ 告示に規定のないIB科目で学習指導要領の必修科目との対応関係を求める場合、教育課程特例校の制度が活用可能。

■ 新学習指導要領の実施に向けた取組

- **学習指導要領に定める内容事項とIB科目の内容の対応関係**について、IB教育推進コンソーシアムで調査を実施。結果は事務連絡及びIB教育推進コンソーシアムのHPで公表予定。
- 今後、告示を改正予定。

■ 必履修科目の対応関係

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム	高等学校学習指導要領 (平成30年改訂)
言語A：言語と文学（SL, HL両方）	現代の国語、言語文化
言語A：文学（SL, HL両方）	
ジオグラフィー（SL, HL両方）	地理総合
ヒストリー（SL, HL両方）	歴史総合
マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ（SL, HL両方）	数学Ⅰ
マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーション（SL, HL両方）	
フィジックス（SL, HL両方）	物理基礎
ケミストリー（SL, HL両方）	化学基礎
バイオロギー（SL, HL両方）	生物基礎
ミュージック（SL, HL両方）	音楽Ⅰ
ヴィジュアル・アーツ（SL, HL両方）	美術Ⅰ
言語B：English（SL, HL両方）	英語コミュニケーションⅠ
セオリー・オブ・ナレッジ	総合的な探究の時間

■ 必修科目以外の対応関係

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム	高等学校学習指導要領（平成30年改訂）
言語A：言語と文学（SL）	論理国語、文学国語、国語表現
言語A：言語と文学（HL）	論理国語、文学国語、国語表現、古典探究
言語A：文学（SL, HL両方）	論理国語、文学国語、国語表現、古典探究
ジオグラフィー（SL, HL両方）	地理探究
ヒストリー（SL, HL両方）	日本史探究、世界史探究
エコノミクス（SL, HL両方）	政治経済
マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ（SL）	数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ（HL）	数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーション（SL）	数学Ⅱ、数学A、数学B
マセマティックス：アプリケーションズ・アンド・インタープリテーション（HL）	数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
フィジックス（SL, HL両方）	物理
ケミストリー（SL, HL両方）	化学
バイオロジー（SL, HL両方）	生物
ミュージック（SL, HL両方）	音楽Ⅱ、音楽Ⅲ
ヴィジュアル・アーツ（SL, HL両方）	美術Ⅱ、美術Ⅲ
言語B：English（SL, HL両方）	英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ